

「営業地区内お取引企業の景気動向調査レポート」(但陽信用金庫)

〔2020年1月～3月期〕 ※抜粋

調査対象先:但陽信用金庫取引先(443先) 調査方法:渉外担当者による聞き取り調査 調査時期:2020年3月上旬
調査地域:東播磨(加古川市・高砂市・稲美町・播磨町)、姫路(姫路市)、朝来・神崎(朝来市・神河町・市川町・福崎町)、
全地域(上記3地域と加西市の合計)

概況(全業種)	全地域(東播磨、姫路、朝来・神崎・加西)			東播磨			
	2019.10～12月期	2020.1～3月期(今回)	2020.4～6月期(予想)	2019.10～12月期	2020.1～3月期(今回)	2020.4～6月期(予想)	
業況DI	▲4.46	▲16.63	▲31.12	▲8.52	▲14.79	▲31.95	
売上額DI	2.81	▲20.38	▲25.83	▲0.57	▲15.88	▲27.65	
収益DI	0.47	▲19.43	▲24.88	▲0.57	▲15.29	▲28.82	
資金繰りDI	▲0.70	▲3.80	▲6.41	▲0.57	0.00	▲4.12	
前期比残業時間DI	1.17	▲4.03	▲6.64	▲2.84	▲6.47	▲7.06	
人手過不足DI	▲39.44	▲33.25	▲29.29	▲41.14	▲36.47	▲32.94	
前年	売上額	0.94	▲21.43	-	▲4.57	▲22.35	-
同期比	収益	▲1.88	▲20.29	-	▲0.57	▲17.06	-
概況(全業種)	姫路地域			朝来・神崎地域			
	2019.10～12月期	2020.1～3月期(今回)	2020.4～6月期(予想)	2019.10～12月期	2020.1～3月期(今回)	2020.4～6月期(予想)	
業況DI	9.46	▲12.75	▲26.85	▲18.07	▲22.89	▲37.35	
売上額DI	13.42	▲22.15	▲26.17	▲9.64	▲24.10	▲22.89	
収益DI	10.74	▲19.46	▲21.48	▲15.66	▲25.30	▲24.10	
資金繰りDI	1.34	0.67	▲0.67	▲6.02	▲16.87	▲18.07	
前期比残業時間DI	0.67	▲1.34	▲5.37	10.84	▲1.20	▲8.43	
人手過不足DI	▲38.26	▲32.43	▲29.25	▲38.55	▲27.71	▲19.28	
前年	売上額	16.11	▲13.42	-	▲15.85	▲30.49	-
同期比	収益	7.38	▲14.19	-	▲20.73	▲34.15	-

全業種における調査概況

【2020年1月～3月期実績】全地域でさらに低下するという厳しい状況(東播磨地域は低下)

当期の全地域・全業種における業況DIは▲16.63となり、前期比12.17ポイント低下しました。地域別では、東播磨地域は、前期比6.27ポイント低下の▲14.79。姫路地域は前期比22.21ポイントと大幅に低下し▲12.75、朝来・神崎地域は前期比4.82ポイント低下の▲22.89となるなど、全地域で大幅に低下しました。

業種別では、サービス業は前期の予想通り横ばいながら、製造業・不動産業・小売業・卸売業・建設業はいずれも大幅に低下しています。人手過不足DIは▲33.25と、前期比6.19ポイント上昇し、人手不足感がやや緩和しました。

【2020年4月～6月期予想】全地域でさらに低下するという予想(東播磨地域は低下を見込む)

来期の全地域・全業種における予想業況DIは▲31.12で、今期を14.49ポイント下回る予想です。東播磨地域では、今期比17.16ポイント低下の▲31.95。姫路地域では今期比14.1ポイント低下の▲26.85ポイント。朝来・神崎地域では今期比14.46ポイント低下の▲37.35とすべての地域で大きく悪化する予想となっています。

業種別では、小売業が横ばい、製造業・サービス業・不動産業・卸売業・建設業は大幅に低下すると予想しています。人手過不足DIは▲29.29と今期からさらに3.96ポイント緩和するものと予想されています。

12月に中華人民共和国湖北省武漢市において発生した新型コロナウイルスの世界的な感染が、人や物の停滞を引き起こし、国内のみならず全世界の経済に大きな打撃を与えています。